



体育授業における学習指導論への Capabilities Approachの 適用可能性

人間科学部
スポーツ健康科学科
教授

黒川 哲也



研究シーズの紹介

これまでの体育授業は、スポーツを「する」ことや体力の向上に主眼が置かれてきました。ところが、近年では、市民のスポーツとの関わり方が「みる」「ささえる」「うみだす」など多様化してきています。体育授業は、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現していくための基礎的教養を、すべての子

どもたちに「平等に」保障することを課題とするようになったのです。本研究は、すべての子どもたちにスポーツに関する教養を「平等」に保障するための学習指導の方法を、現代平等論の中心をなす「Capabilities Approach」の観点から明らかにすることを目指しています。



学びの平等性・ 対等性

- 体育の学習指導論を「異質協同の学び」をベースに「個性化」することを目指しています。
- 学習指導における「深い学び」を実現します。

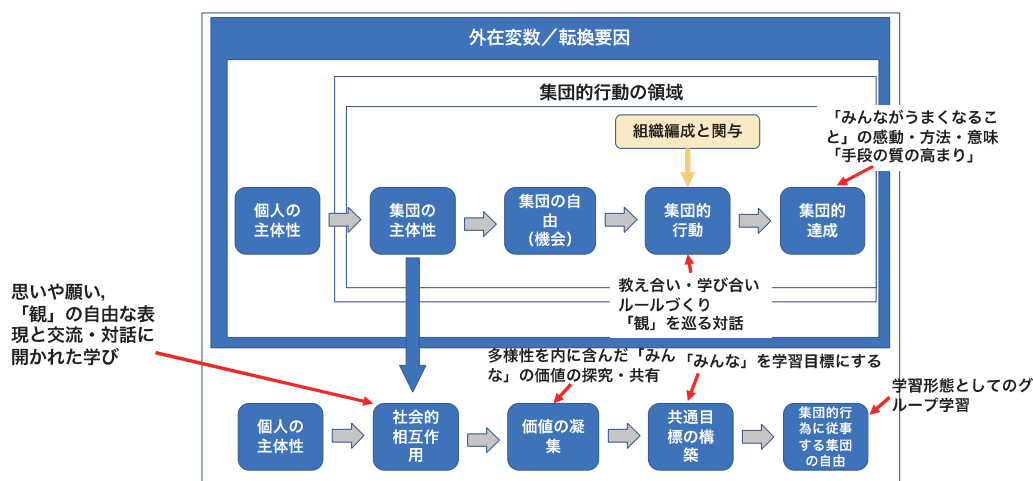


図 集団的行為と集団的ケイパビリティの統合

(出所: Carolina Londono-Escudero, 2022, Nature governance for collective well-being: reconciling holistic sustainability and human developmentに加筆)

期待される活用シーン

- 体育科における主体的・対話的で、深い学び」をどう実現するか?



学びの「3C: conscious自覚的; cooperative協同的; critical批判的」を軸にした体育科の学習指導法

- 様々な「違い」をもつ子どもたちを対象にした体育授業をどのように構成するか?



能力や特性に適合した学習機会の保障と子ども同士の関係の平等の統一



その他の研究テーマ

- ・ スポーツを通じて育てるべき現代的教養（リテラシー）に関する研究
- ・ 体育科のカリキュラム構成に関する研究
- ・ 体育教師の信念と授業づくりとの関係